

プロバスケットボール広島ドラゴンフライズの試合を初めて観戦

中国遊技機商業協同組合福利厚生委員会(金原 正委員長)では、今年度初めて福利厚生事業活動の一環として計画し、2月6日広島グリーンアリーナで開催されたバスケットボール男子Bリーグ1部、西地区4位の地元広島ドラゴンフライズ対東地区栃木宇都宮ブレックス戦の試合を観戦しました。当日は、テレビ中継もされており、3,000人余りの観衆が見守るなか、午後2時過ぎに試合開始となり、プロ選手の素早い動きやコート内での素晴らしいパフォーマンス等を目の当たりにして感動し、お互い得点が入るたびにコロナ禍で声援ができない代わりに拍手をもって応援しました。試合は広島が全員による粘り強い守備やリバウンドを中心に勝機を手繰り寄せ、2015年の初対戦から12戦連敗中だった宇都宮を72対67で撃破しました。観戦の組合員等は楽しい一時を過ごし、次の勝利をも願いながら熱気がこもる会場を後にしました。(別添写真参照)

